

八月読みとりおけいこ（中）③

名前（ ）

八月七日から十日まで五条坂(ごじょうざか)では陶器(とうき)まつりがおこな

われますが、もともとこの時期は「おしょらいむかえ」と

言つて、お盆(ぼん)に家に帰つてくるご先祖(せんそ)さま（おしょらいさ

ん）をむかえに行く期間でした。京都では東大谷や六道の

辻へ出かける人が多かつたので、そのおまいりの人にお買つ

てもらおうと、近くの清水焼(きよみずやき)のしょく人さんがお店をだし

たのがはじまりです。

平安時代は平安京エリアの中におはかを作ることはで

きなかつたため、西は化野(あだし)、北は蓮台野(れんだいの)、東は鳥辺野(とりべの)に

死者をはこんですていきました。

陶器まつりの行われるあたりはちようど鳥辺野の入り口にあたります。近くには六波羅蜜寺(ろくばらみつじ)や珍皇寺(ちんのうじ)などがあ

り、人々はそこでコウヤマキの枝を買い、迎え鐘(えいがね)をつき、枝にのりうつらせて大切に家の仏だんまでご先祖さんを

はこぶのです。

この辺のお寺には九相觀の屏風(きゅうそうかん)がかざつてあることもあります。十二單の檀林皇后(ひどえ)の体が死んで、くさり、ウジにくわれてがいこつになり犬にくわれて風にちり、なくなるまでの絵がかかっています。世の中の無常を教え、かぎりある時間を大切にしないといけないことをわからせるためのものでした。

六道の絵も地獄(じごく)のようすがおどろおどろしくかかれ、悪いことをしたら死んだあと、こうなるよ、と聞かされた子どもたちはふるえあがつたものでした。あめかい幽靈(ゆうれい)でも知られる「ゆうれいあめ」も売られています。もし、陶器まつりにいくのなら、ぜひ六道の辻へも足をのばしてください。こわくてたのしいところですよ。

① 何の話でしよう？

（ ）檀林皇后（ ）おしょらい迎え

（ ）清水焼（ ）陶器まつり

② 平安京のおはかを作るときのきまりはどんなことでしたか？

（ ）化野・鳥辺野・蓮台野の共通点は？

（ ）陶器まつりの行われるあたりはどこの入り口ですか？

（ ）ご先祖さんをのせるものはなんですか？

（ ）九相觀の屏風は何のために作られたのですか？

（ ）九相觀の屏風は何の絵？

（ ）六道の絵におどろおどろしくかかれているのは何の絵？

（ ）ここで売られているものは？

（ ）おかげ（ ）せんべい（ ）あめ

（ ）あつているものに○をつけましょう。

（ ）陶器まつりは友禅染の職人さんがはじめた。

（ ）十二単の人はくさらない。

（ ）六道の辻はこわくてたのしい。

⑩ 上の話の感想を五行でまとめましょう。

